

1 教材・教具名

ビーチボール補助器具

2 教科・領域

保健体育科

3 指導目標、指導内容、指導方法

(指導目標)

- ボールの動きをよく見て、手を伸ばして打ち、相手のところまでビーチボールを打ち返すことができる。
- 友達とボールを打ち合うゲームに取り組むことができる。

(指導内容)

- 1 m程度のカーテンレールのランナーにビーチボールを付けたひもをつるす。教師がレールの両端を持ち、生徒の打ちやすい場所に移動する。
- ボールを相手に向かって打つと、カーテンレール上をランナーが動いてボールが移動する。
- 30秒の制限時間内に相手とボールを打ち合うことを繰り返す。
- 時間終了時に、ボールがどちら側にあるかで勝敗を決める。

(指導方法)

- 自分のタイミングでボールを打つことができるように、ひもを付けてつり下げたビーチボールを使用する。
- 打つとボールが動くことや強く打つタイミングを知るために教師と一緒に数回打つ動作を練習する。

4 工夫点、おすすめポイント

- カーテンレールを使用することで、小さな力でもボールが動く感触が分かる。
- 教師がカーテンレールを持つことで、体格差のある生徒とでも、高さや位置を調整して対戦することが可能である。
- カーテンレール上に目盛りをつけておくことで、何cm程度打つことができたかが分かる。

5 作成について

①材料や大きさ

- ビーチボール
- カーテンレール（1 m程度）
- ビニールひも

②使用道具

- はさみ
- 空気入れ
- ドライバー

③作り方

- カーテンレールの端の部品を外し、ランナーを1個だけ残し他は外す。
- 端の部品を付け直し、ビニールひもをランナーに縛り付ける。
- ビニールひもの先にビーチボールをくくり付ける。

